

武漢事務所週刊ニュース (2017. 2. 18-2017. 2. 24)

2017年2月18日

GM 武漢拠点は企画の調整に急ぐべき

去年、GM 武漢支社は328億元の生産高を実現し、2年間連続50%以上の上昇スピードを保ち、急速な発展であった。しかし、この区域の計画設計が遅れているため、現在、道路などの周辺設備が既に企業の発展上の需要に応じられなくなっている状態である。

武漢市人民代表大会代表、江夏区の区長—張利氏は、金口鎮の建設を拡大し、武漢長江主軸の全体計画に取り入れると提案した。

張氏は、GM 武漢支社では2期間におけるエンジンプロジェクトはまもなく完成し、将来、完成車100万台の生産能力を持ち、100社以上の部品生産企業を有し、10万人以上の従業員を雇用する見込みで、これは金口地域の発展に更に高い要求を求められていると話した。

2017年2月23日

湖北省で国家レベルのハイテク区が9ヶ所に増加

昨日、湖北省科学技術庁によると、国務院は咸寧ハイテク区、黃岡ハイテク区を国家レベルのハイテク産業開発区に昇格することを正式に承認した。これで、湖北省における国家レベルのハイテク区が9ヶ所に達し、中国の中部地域で第1位を占めている。

2016年の上半期に、武漢の東湖、襄陽、宜昌、孝感、荊門、隨州、仙桃などの7ヶ所の国家ハイテク区は、7488億元の工業総生産高に達し、2352億元の増加数を実現し、それぞれ湖北省ハイテク区全体の61.41%、71.12%を占めていた。

現在、湖北省の黃石大冶湖ハイテク区、潜江ハイテク区等も積極的に国家レベルのハイテク区を建設している。